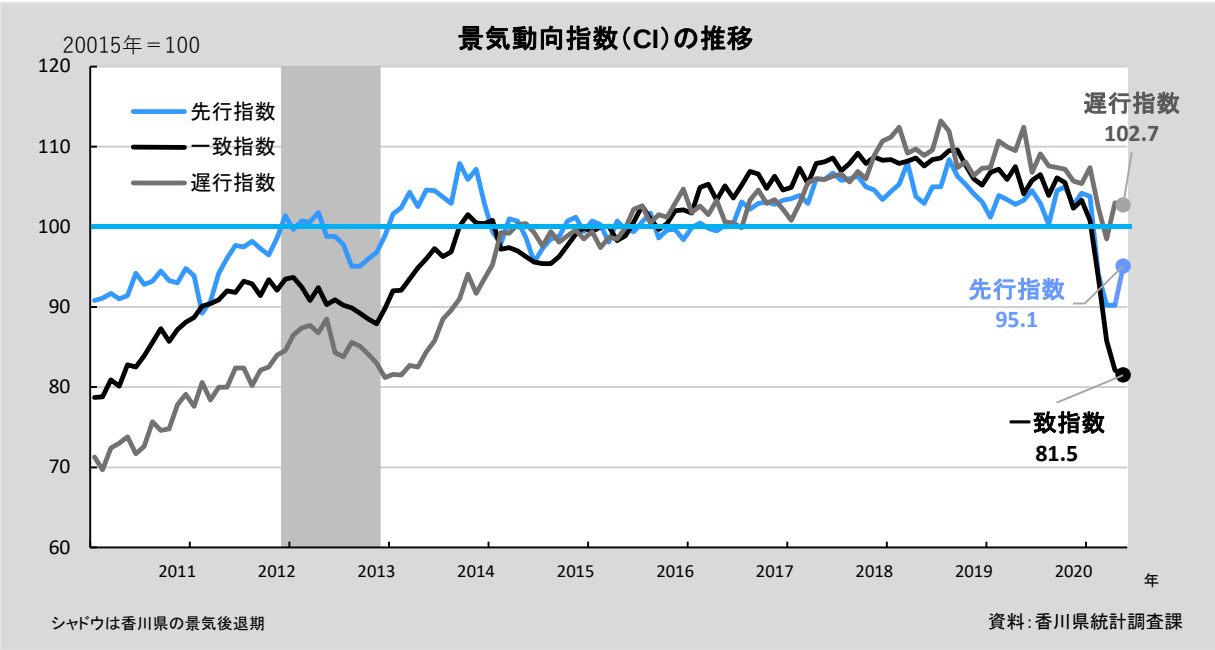
香川県内経済の動き　　7 月～8 月

概況	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響で弱い動きが続いている。
個人消費	弱い動きとなっているが、一部では持ち直しの動きがみられる。
住宅投資	減少している。
公共投資	緩やかに増加している。
生産活動	一段と弱い動きとなっている。
雇用情勢	求人減により弱い動きとなっている。
貿易	輸出は弱含み、輸入は減少している。
観光	新型コロナウイルスの影響で弱い動きが続いている。

景気動向指数（かがわ CI）　　先行指数　5 カ月ぶり上昇



景気の現状をみると、7 月の CI 一致指数は 81.5（前月比▲0.6 ポイント）と 5 カ月連続で下降。CI 先行指数は 95.1（前月比＋4.9 ポイント）と 5 カ月ぶりに上昇。CI 遅行指数は 102.7（同▲0.3 ポイント）と 2 カ月ぶりに下降。

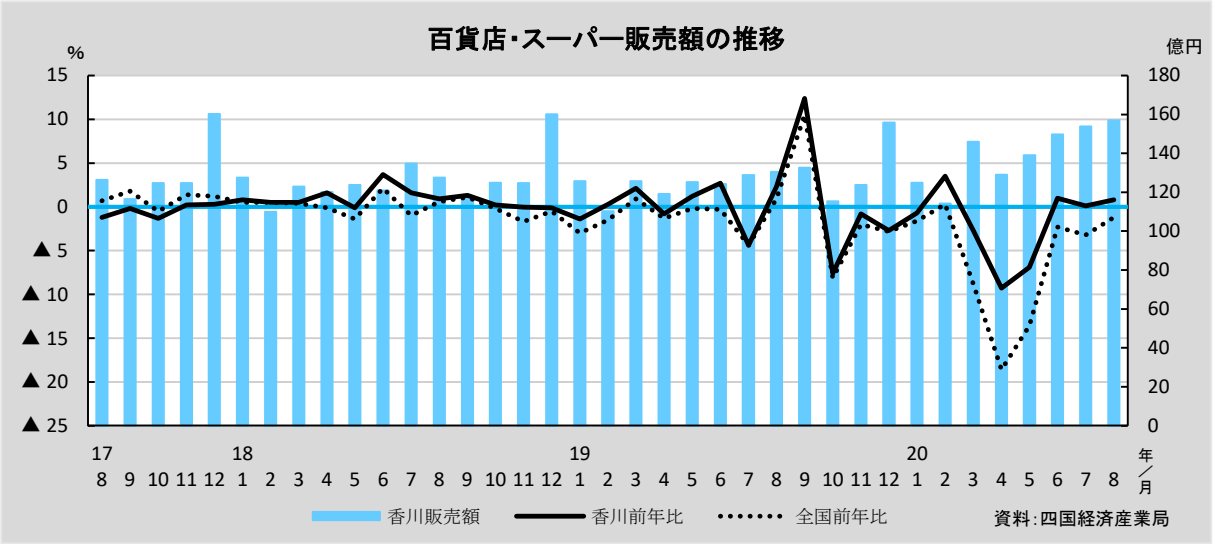
景気の先行きを示す先行系列の個別指標では、新規求人数、消費者態度指数、鉱工業在庫率指数等が上昇に寄与したことにより、前月から 4.9 ポイント上昇。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用景気指標	1 新規求人数	1.36	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.55	1 常用雇用指数	▲ 0.39
	2 乗用車新車登録台数	0.51	2 有効求人倍率	0.71	2 有効求職者数	▲ 1.37
	3 鉱工業在庫率指数	0.76	3 所定外労働時間指数	0.43	3 消費者物価指数	0.80
	4 生産財生産指数	0.76	4 鉱工業生産指数	▲ 0.77	4 家計消費支出	0.40
	5 新設住宅着工戸数	0.20	5 鉱工業出荷指数	0.06	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.93
	6 金融機関貸出残高	0.62	6 建築着工床面積	▲ 0.26	6 法人事業税調定額	0.16
	7 消費者態度指数	1.02	7 百貨店･スーパー 既存店販売額	▲ 0.29	7 第3次産業活動指数	1.22

個人消費　　弱い動きとなっているが、一部では持ち直しの動きがみられる

●百貨店・スーパー販売額

3 カ月連続増加



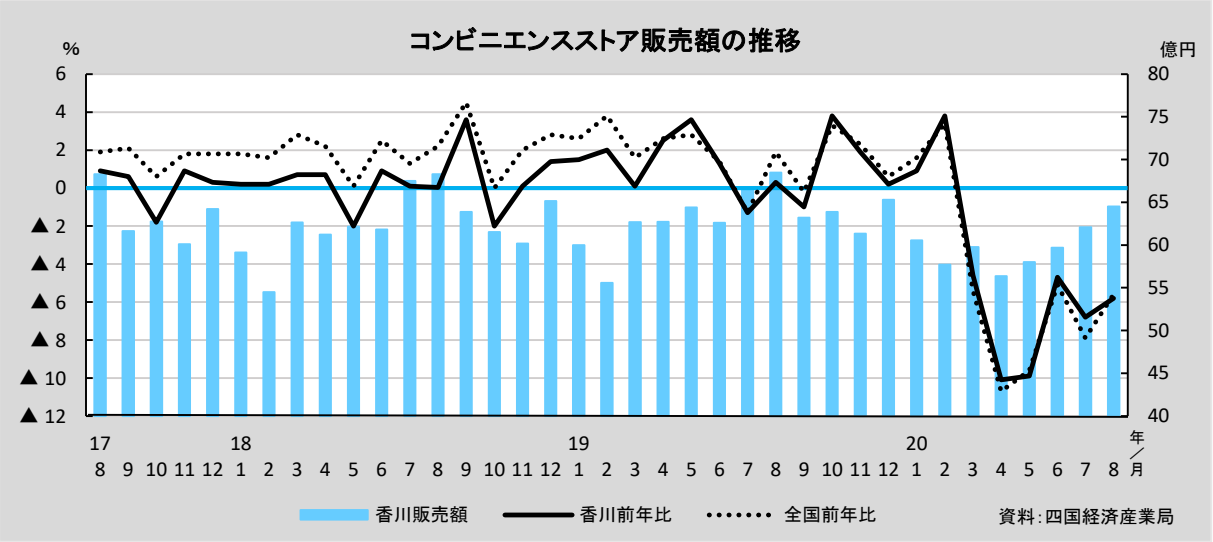
2020/8月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額（万円）	83,354	64,296	1,176,672	1,929	7,778	105,626	128,721	731	1,569,107
前年同月比（%）	▲ 22.6	▲ 4.2	2.5	▲ 18.1	▲ 21.0	24.3	▲ 8.7	▲ 30.9	0.8

8 月の百貨店・スーパー全店（85 店）の販売額は 156.9 億円で前年同月比＋0.8%となった。新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛傾向で引き続き内食需要が好調なため、スーパーでの飲食料品や家庭用品が伸び、3 カ月連続で増加した。

品目別にみると、「家庭用品」はラップ類などの台所用品が好調で前年同月比＋24.3%、「飲食料品」は生鮮野菜の相場高や、冷凍食品などが堅調に推移し同+2.5%となった。一方「衣料品」は全般的に不振で、同▲22.6%と大幅に減少した。

●コンビニエンスストア販売額

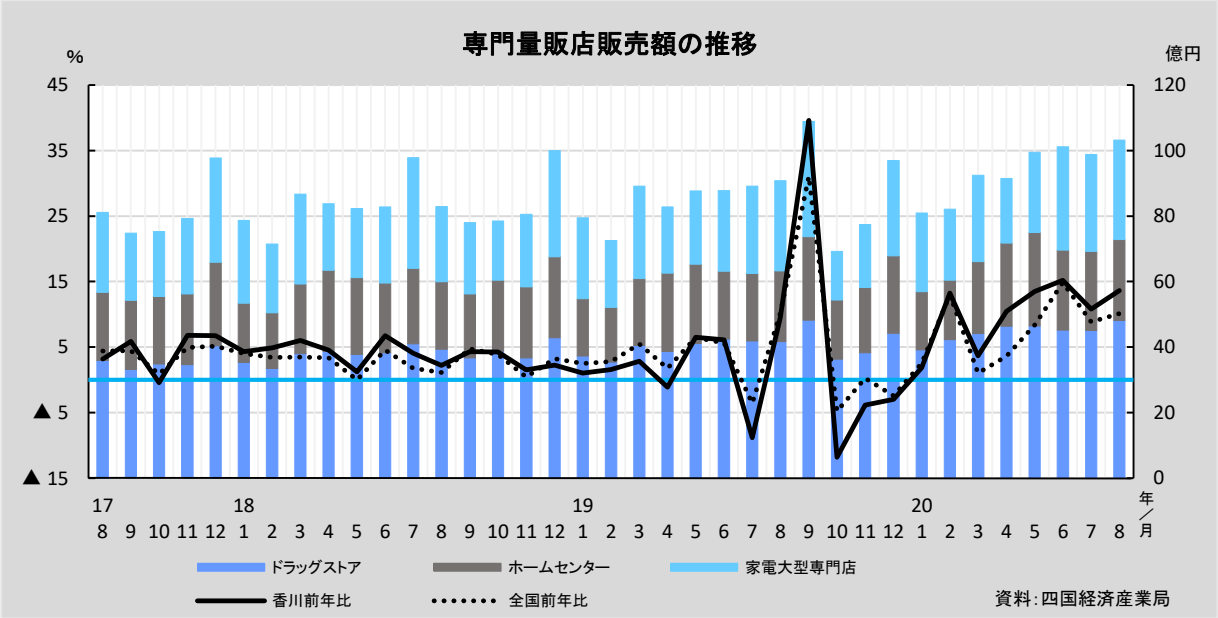
6 カ月連続減少



8 月のコンビニエンスストア全店（408 店）の販売額は 64.5 億円で、前年同月比▲5.8%となった。新型コロナウイルス感染症の影響による来店客数の減少でファストフードなどの動きが鈍く 6 カ月連続で減少した。

●専門量販店販売額

8 カ月連続増加

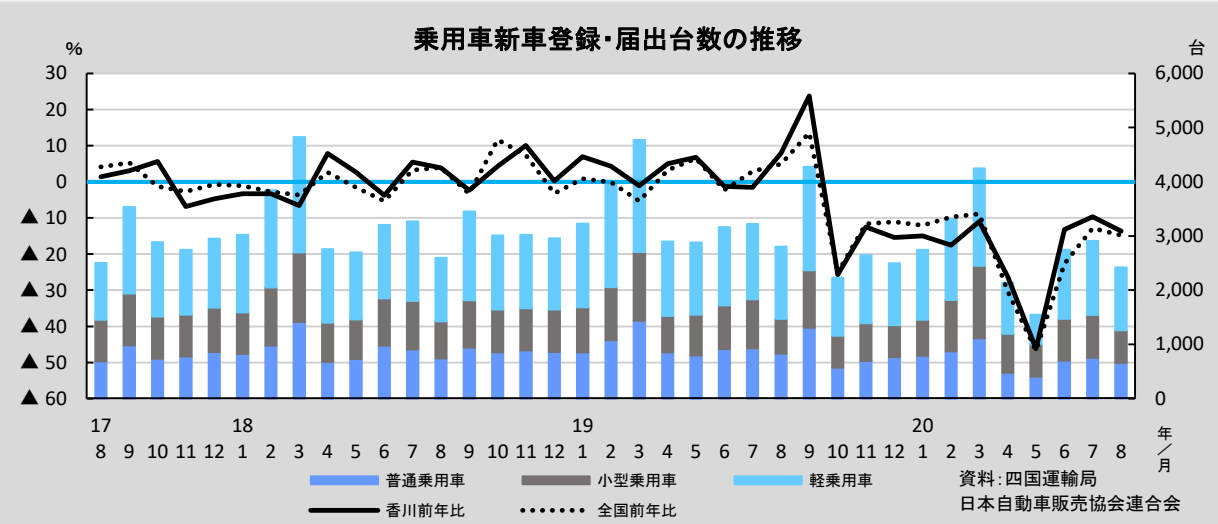


8 月の専門量販店全店（199 店）の販売額は 103.2 億円で、前年同月比+13.6%と 8 カ月連続で増加した。

業態別にみると、猛暑でエアコン、テレワーク需要でパソコン、巣ごもり需要でテレビなどが好調で、家電大型専門店（29 店）の販売額は、30.4 億円で前年同月比＋10.0%となった。新型コロナウイルス感染対策でマスクや除菌剤などが引き続き好調なドラッグストア（127 店）の販売額は、48.1 億円で同+15.5%。ホームセンター（43 店）は衛生用品、DIY・園芸用品などが好調で、販売額は 24.7 億円で同+14.5%となった。

●乗用車新車販売台数

11 カ月連続減少



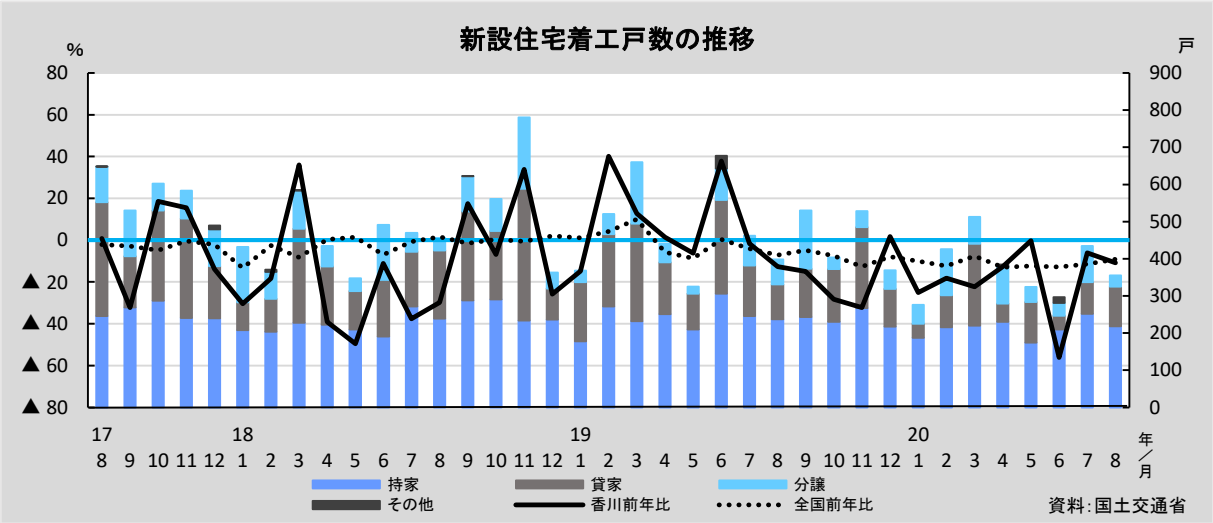
8 月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は 2,422 台で、前年同月比▲13.6%と、11 カ月連続で減少となった。

車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲20.3%、小型乗用車で同▲7.7%、軽乗用車で同▲12.3%となった。

住宅投資　　減少している

●新設住宅着工

8 カ月連続減少

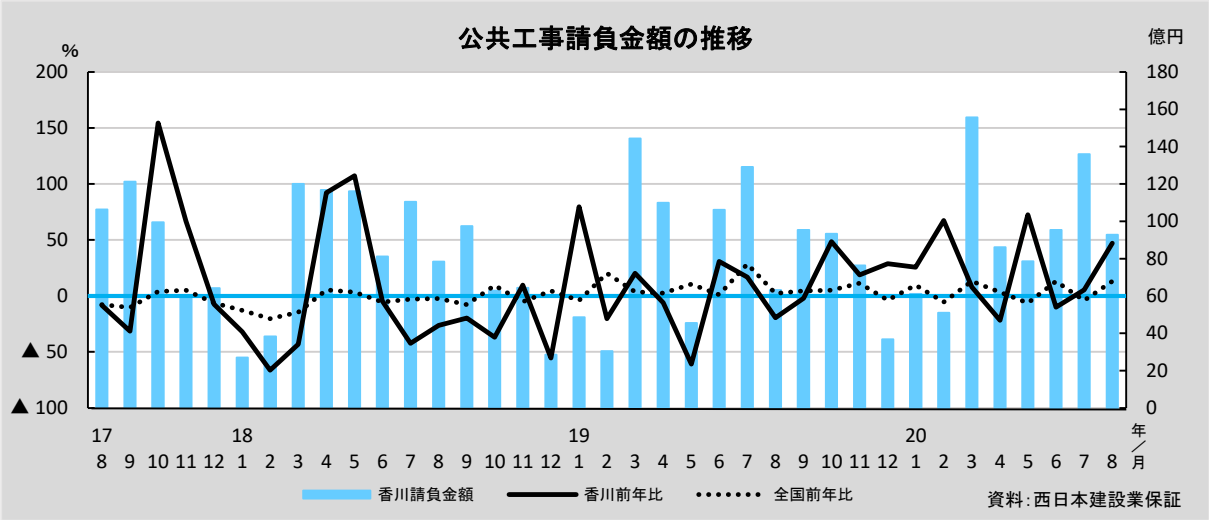


8 月の新設住宅着工戸数は 355 戸で、前年同月比▲10.8%と、8 カ月連続で減少した。利用関係別にみると、持家で前年同月比▲8.0%、貸家で同＋13.8%、分譲住宅で同▲55.2%となった。

公共投資　　緩やかに増加している

●公共工事請負金額

2 カ月連続増加

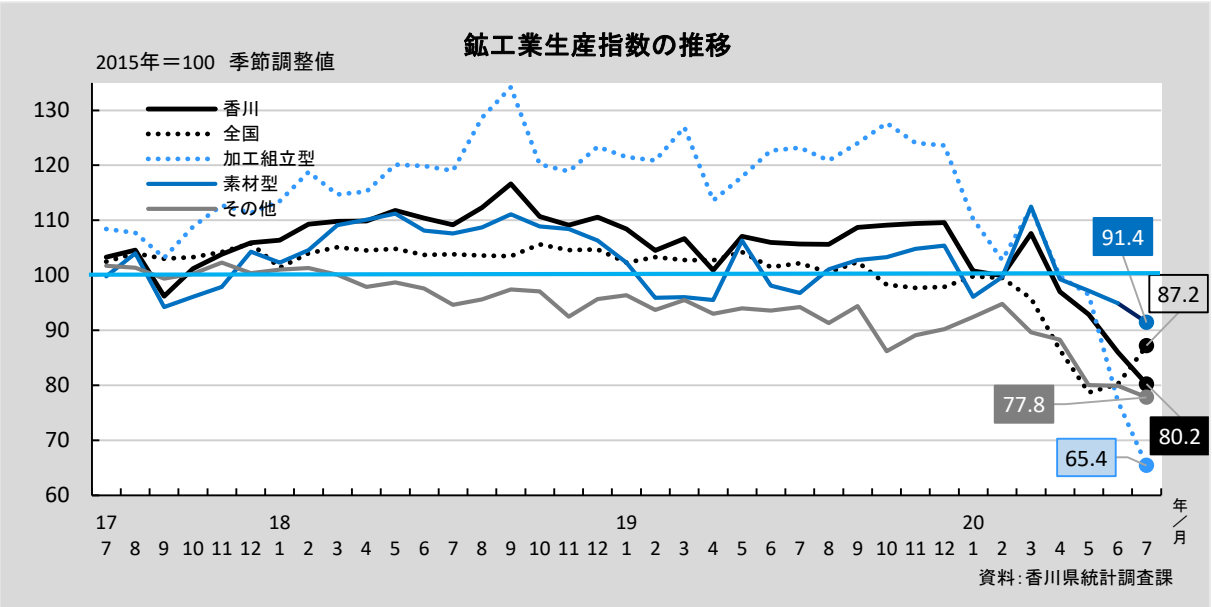


8 月の公共工事請負金額は 92.8 億円で、前年同月比＋47.0%と 2 カ月連続で増加した。発注者別にみると、国・独立行政法人等で前年同月比＋23.9%、県で同＋31.1%、市町で同＋50.2%となった。4～8 月の年度累計では前年同期比 7.7%増加している。

生産活動　　一段と弱い動きとなっている

●鉱工業生産指数

4カ月連続低下



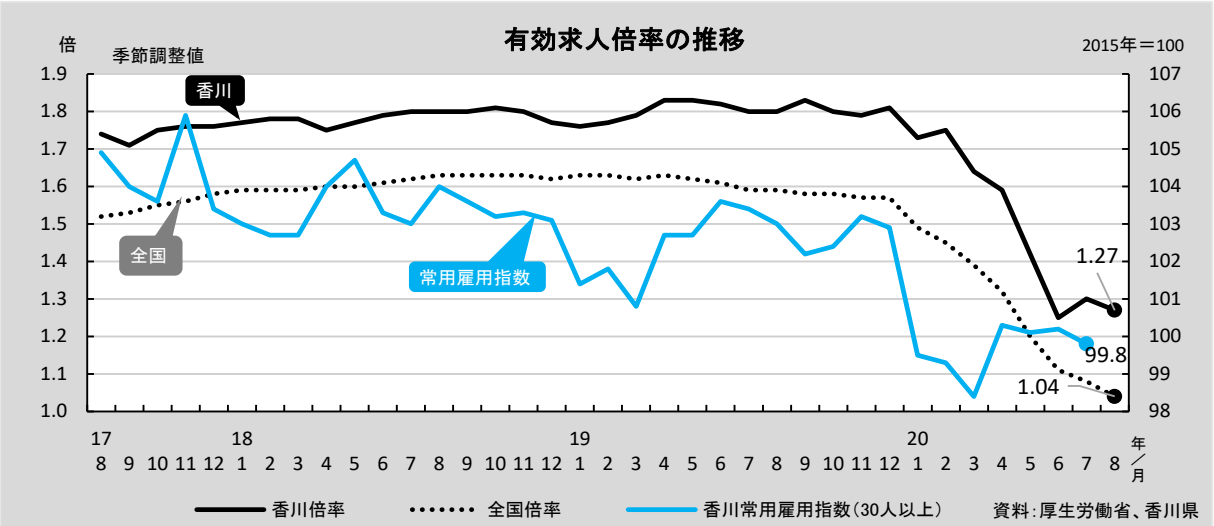
7月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は80.2（前月86.0）となり、4カ月連続で低下した。

業種別では、加工組立型の輸送機械工業（鋼船）は前月比▲33.1%、素材型の非鉄金属工業（電気金）が同▲13.5%と低下した。一方、素材型のパルプ・紙・紙加工品工業（乳幼児用紙おむつ）は同＋10.7%と上昇した。

雇用情勢　　求人減により弱い動きとなっている

●有効求人倍率

2カ月ぶり低下



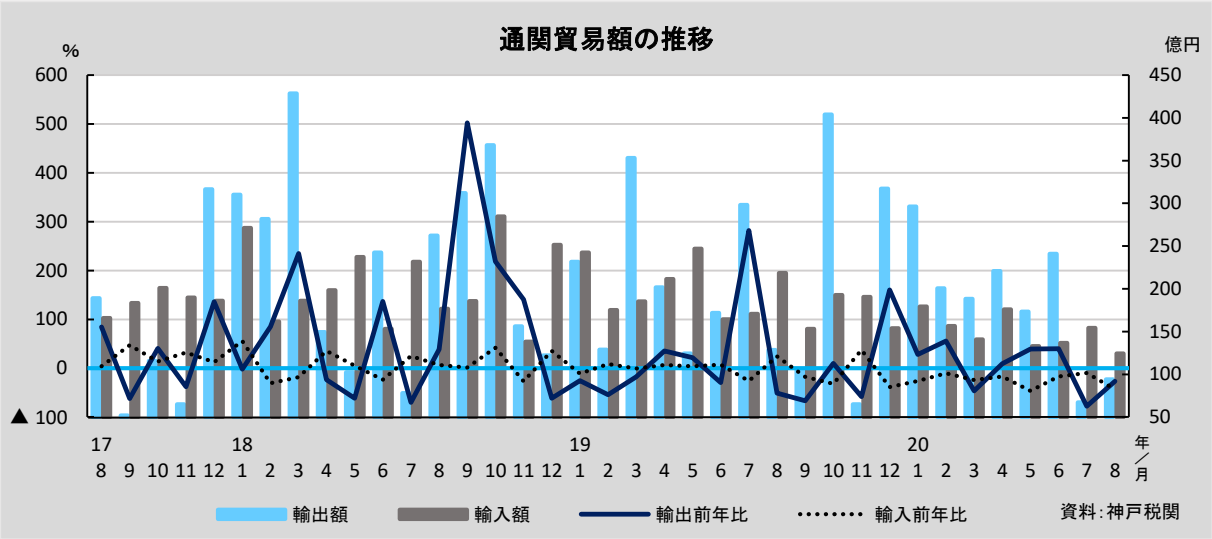
8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.27倍（全国4位）と前月より0.03ポイント低下した。

新規求人（原数値：前年同月比）は、建設業等で増加し、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉等で減少となり、全体で▲21.6%と8カ月連続で減少した。

7月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、99.8となり、前年同月比は12カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.95
事務的職業	0.46
販売の職業	1.96
サービスの職業	2.95
生産工程の職業	1.73
輸送・機械運転の職業	1.78
建設・採掘の職業	7.82
運搬・清掃・包装等の職業	0.88

貿　易　　輸出は弱含み、輸入は減少している

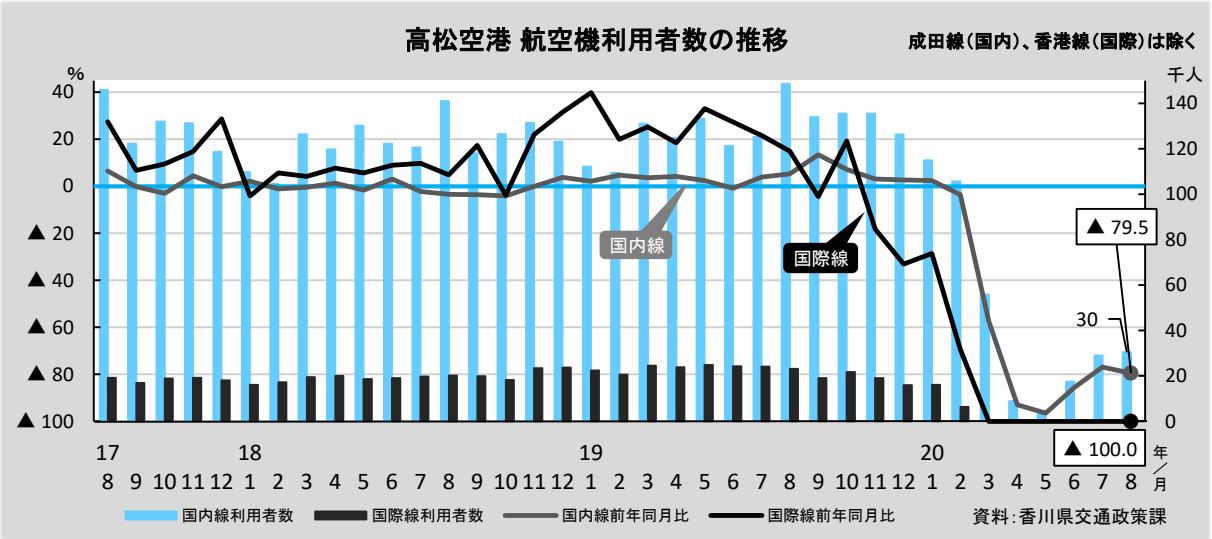


8 月の輸出額は前年同月比▲26.7%の 94.2 億円、輸入額は同▲43.1%の 124.3 億円となり、差し引き 30.1 億円の入超となっている。

輸出額減の主因は、貨物船輸出額が前年同月比▲48.5%の 28 億円となったためである。輸入額減の主因は、石炭輸入額が前年同月比▲53.2%の 39 億円となったためである。

交　通　　国内線は 7 カ月連続減少、国際線は 6 カ月連続全面運休

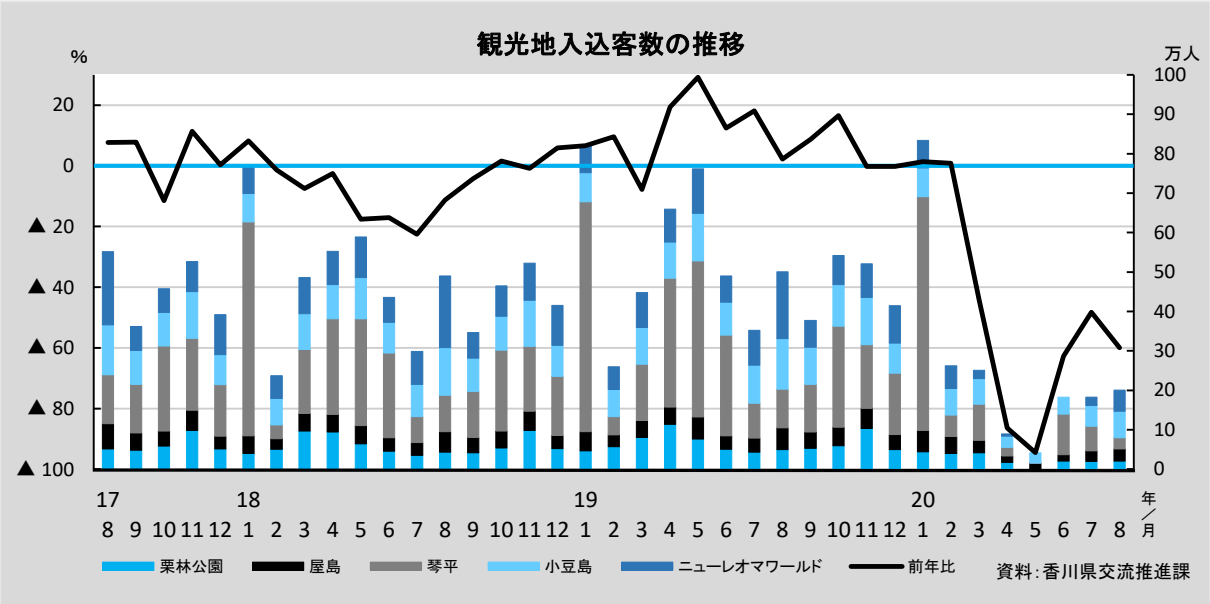
●高松空港旅客輸送実績



8 月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が 30,494 人（前年同月比▲79.5%）となり、7 カ月連続で減少した。羽田線は 8 月 2 日から全線再開し、29,007 人（前年同月比▲78.5%）となった。国際線（ソウル・上海・台北線）は新型コロナウイルスの影響により 6 カ月連続の全面運休となった。

観　光　　新型コロナウイルスの影響で弱い動きが続いている

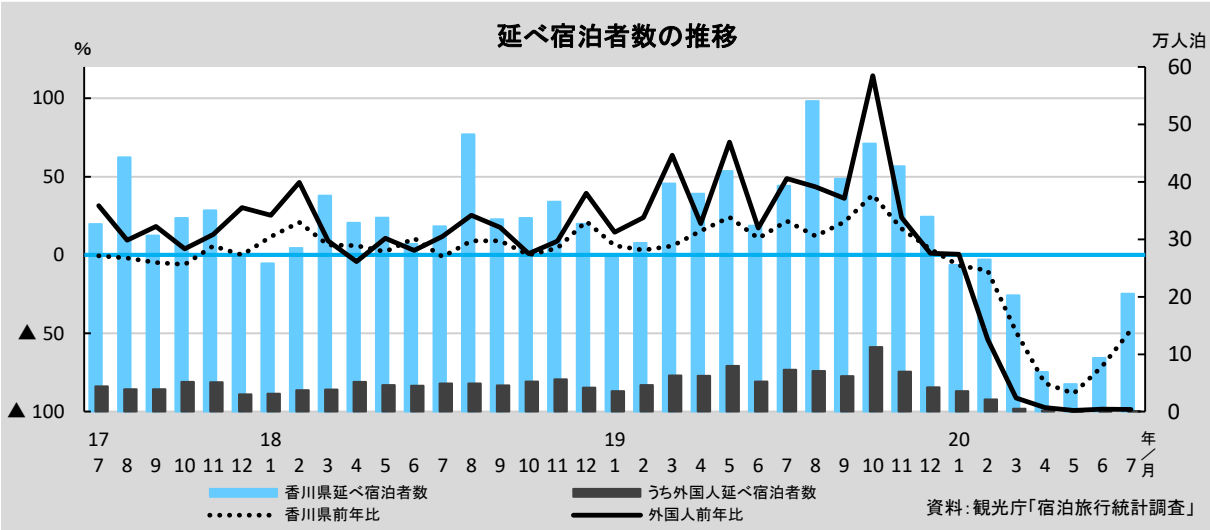
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		ニューレオマワールド		合計	
8月（人）	前年同月比	20,483	▲59.1%	30,586	▲44.0%	29,000	▲70.4%	67,109	▲47.8%	53,068	▲68.7%	200,246	**▲60.0%**
1～8月累計（人）		205,010	▲60.4%	233,497	▲32.5%	955,800	▲50.7%	420,592	▲44.4%	228,620	▲69.0%	2,043,519	**▲52.4%**

８月の主要観光地（ニューレオマワールド含む）の入込客数は、前年同月比▲60.0%と６カ月連続で減少。政府や自治体の観光支援事業が導入されたが、観光需要は依然低迷しており、琴平は▲70.4%（前月▲28.4%）と７月の前年比より大幅に悪化した。栗林公園は▲59.1%（前月▲53.6%）、屋島は▲44.0%（前月▲26.4%）、小豆島は▲47.8%（前月▲46.3%）と減少している。1～8月の累計では前年比▲52.4%となった。

●延べ宿泊者数



７月の延べ宿泊者数は 205,390 人で、前年同月比▲47.7%と７カ月連続で減少した。うち、外国人延べ宿泊者数は 1,010 人となり、同▲98.6%と６カ月連続で減少した。